| 法人名 | 社会福祉法人桜友会 |
|---------------------------------------|--|
| 施 設 • 事 業 所 名 | ほほえみ福寿の家 短期入所 |
| 介護ロボット等の種別 | 排泄支援 |
| 介護ロボット等の製品名 | ラップポン・プリート(S) |
| 介 護 ロボット等 の 使 用 状 況 (使用する業務・使用頻度等) | 毎日使用。トイレ介助業務に使用。1日4 ~5回使用。月計120~150回。 |
| 介 護 ロボット等 の 導 入 効 果 (導入による業務改善状況等) | ポータブルトイレ使用後の清掃業務がなくなった。この業務にかかる時間の短縮に効果があった。1回5分。1日20~25分。 月計10時間~12.5時間の短縮に繋がった。 |
| 介護ロボット等の導入の課題 | コストが掛かる:普通のポータブルトイレと比較するとかなり高額である。汚物を処理するラップと固める砂状の物を定期的に購入する必要がある。 |
| 写真 | |